

一人一人の歩みで  一人一人の未来を
茨城県立下妻特別支援学校



所在地 〒304-0005 下妻市半谷 492-4
 電話 0296-44-1800
 F A X 0296-43-9174
 ホームページ [http:// www.shimotsuma-sn.ibk.ed.jp/](http://www.shimotsuma-sn.ibk.ed.jp/)
 E-mail koho@shimotsuma-sn.ibk.ed.jp
 創立 昭和 49 年4月1日

高等部生徒数 37 名 【令和元年5月1日現在】

普通科	高1		高2		高3		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
人数	8	8	4	2	5	10	17	20

本校の教育

校訓『明るく なかよく すすんで』

茨城県立下妻特別支援学校は下妻市内にあり、茨城百景にも選定される「砂沼」の近くに位置する、肢体不自由教育を行う特別支援学校です。児童生徒の障害の種類や程度は一人一人違います。成長の歩みもそれぞれですので、一人一人のその歩みに応じた様々な学習に取り組んでいます。一方で小学部、中学部、高等部が活動を共にする学習や行事もたくさんあります。同じ校舎や寄宿舎で、学齢の違う児童生徒が共に助け合い励まし合いながら、充実した学校生活を送っています。

高等部の教育

○教育的ニーズに応じた教育課程

高等部は、小・中学部段階で培った基礎的な学習をさらに発展させ、教科学習から自立活動までの幅広い学習内容と、さまざまな進路学習をとおして、生徒一人一人に応じた自立と社会参加を目指します。

高等学校に準ずる教育内容（教科学習グループ）、知的に障害のある生徒に対する教育内容（生活A、B、Cの各グループ）、複数の障害を併せ有する生徒に対する教育内容（スカイグループ）の3つの教育課程を柱に、個々の実態等に対応する多彩なグループを編成しています。授業にあたっては、生徒本人が最大限の力を発揮できるように学習環境の充実に努めています。

◇教科学習グループ ～高等学校卒業単位を取得し、科目選択で進学コース・就労コースに対応～

主に一般就労や大学・専門学校への進学を目指し、コース選択により自分の進路を実現するための学力やスキルを身につけます。卒業後の社会自立と卒業自立を目指すために「職業と生活」「進路研究」等の学校設定科目も履修します。

◇生活A ～豊富な体験学習で就労・就労移行支援・就労継続支援への移行を目指す～

実生活や社会参加に必要な知識・技能を身につけ、将来、事業所や障害者支援施設等で働くことができるよう生活経験や職業体験等の充実に努めます。

◇生活B・C ～豊富な体験学習で、就労継続支援・自立訓練・生活介護への移行を目指す～

日常生活を充実させるために必要な知識や技能を身につけ、将来に向けた自立的生活習慣の確立を目指します。校外学習等の体験的学習の充実に努めます。生活Bグループは「実践的」、生活Cグループは「基礎的」コミュニケーション力の向上を目指しています。

◇スカイ ～健康を保ちつつ意思表示の力を育み、自分らしい生き方を目指す～

健康を維持・増進し、生活リズムや生活習慣の形成を図るとともに、感覚機能や運動機能の維持・向上を通して、自分の意思や感情を表出できる力を育てます。

◇訪問教育 ～保護者や関係機関と連携を図り、健康を保ちつつ自分らしい生き方を目指す～

教師がご家庭に訪問し、自立活動を主体に一人一人に応じた内容を学習し、健康の維持と自分の意志や感情を表出できる力を育てます。

社会参加に向けた進路学習を柱に

○『個別移行支援計画』を活用して

高等部入学直後から『個別移行支援計画(在学中の個別の指導計画(長期), 卒業後の個別移行支援計画より構成)』を策定し, 卒業後の地域生活への移行がスムーズに進むように取り組んでいます。在学中の個別の指導計画(長期)では, 年2回の「進路体験実習」を実施し, 実習の成果を基に生徒・保護者とともに進路想定の見直しを行っています。卒業後の個別移行支援計画では, 生徒の実態や各関係機関とのつながり等の情報を進路先へ引き継ぎます。

進路体験実習は, 第Ⅰ期(6月)に2週間と, 第Ⅱ期(10月)に2週間実施します。実習は, 校内と校外(障害者支援施設や企業等)で行います。また, 実施後は保護者の方々や中学部生の参加を得て報告会を行い, 各自の成果を報告します。

◇進路体験実習

～一人一人の未来の姿をイメージして社会参加を目指す～

進路学習の一環として実施します。実習体験をととして, 自己の適性や将来設計について考えます。校内実習は, 模擬的に企業や障害者支援施設の環境を設定しています。活動内容としては, 地元の企業と連携し, いただいた作業に取り組んだり, ものづくり活動をしたり, リサイクル活動を行ったりしています。校外実習は, 企業等で事務補助やバック詰め等に取り組んだり, 障害者支援施設で袋詰め作業や部品の組み立て, 創作活動等に取り組んだりします。



校内実習・生活作業班
「シュレッター作業」



校外実習
「ボールペン作業」

◇作業学習

～協調, 協働の姿勢で作業に従事する姿を目指す～

生活グループは, 「事務課」「エコクラフト課」の2つに分かれて作業学習を行います。「事務課」はパソコンを使っての名刺・名札・ラベル作り等の作業, 「エコクラフト課」は, 紙の裁断やカレンダー・手帳の分解等の外部受注の作業, リサイクル材料を使用した製品作り等に取り組んでいます。



事務課 「名刺製作」

<進路状況> ※訪問教育を含む

進路先	年度	27	28	29	30
進学		1	1	0	0
就職		0	0	1	1
職業訓練校		0	0	0	0
地域活動支援センター等		1	0	1	0
障害福祉サービス利用		13	12	10	10
在宅, その他		0	2	1	1
計		15	15	13	12

<主な学校行事・学習>

月	行事予定
4月	始業式, 入学式, 対面式・新入生オリエンテーション
5月	高3修学旅行(横浜方面)
6月	第Ⅰ期進路体験実習
9月	高2遠足(大洗方面)
10月	第Ⅱ期進路体験実習
10月	文化祭
12月	下特オールスターカップ
2月	卒業生を送る会
3月	卒業式, 修了式

